

# さいたま市教組新聞

さいたま市  
教職員組合  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
Eメール saitama@kyouiku-net.org  
ホームページ  
http://saitama6763.web.fc2.com/  
2009.1.30(金)  
No.149

# 免許更新制で研究所の研修の読替を検討

## 市教委と団体交渉実施

### 第1報

さいたま市教組は、一月二日、五四項目に渡る要求書に基づく団体交渉を実施しました。市教組からは山本悠子執行委員長ほか一五名が参加しました。市教委からは、教職員課の宮田副参事ほか、指導1課、指導2課、教育研究所、健康教育課、教育総務課、教育財務課、学校施設課の七課一所から課長、補佐等が対応しました。

で行う研修の読み替え、等を行うこと。

【市教委】  
さいたま市で該当する人が漏れないよう、該当者の把握をしっかりと行つて、現職教員が円滑に受講できるよう、服務については職専免を含め、土日に受講する場合、通信で受講する場合等々、細かく検討する。一〇年次研修

にとどまらず、研究所で実施する研修の読替ができないか、教育委員会に設置している関係各課の横断的組織である検討委員会を検討する。

## 校舎の耐震工事は 完成年度二年前倒し

【要求】  
学校の校舎の耐震化を急ぐこと。  
【市教委】  
学校施設の耐震化は耐震化実施計画に基づき平成二五年度の完了を目途にすすめる。

## 免許更新受講者の サービスの配慮を検討

### 【要求】

教員免許更新制が〇九年度から実施されます。現職教員が職務を正當に継続できるよう、免許失効で失職することがないようにつとめること。情報の周知徹底、服務の取扱い、一〇年研の軽減、研究所

## 更新講習の費用 全額自己負担に

政府文科省は概算要求では、免許更新制に四七億円要求しましたが、政府予算案は一〇億円です。これは、更新講習を開講する大学等に対し、山間地・離島・へき地に出張して開講する場合、障害のある教員の受講に必要な支援を行う場合、対象教員が少ない教科・科目に関わる講習を開講する場合の補助に当てる額です。この結果、受講者は一時間一〇〇〇円と想定されている受講料で、三〇時間講習を受けるわけですから、免許更新講習の受講料三万円は全額自己負担になることが確定したことになります。さらに、県内の講習がかわらず、北海道や九州、近畿方面、関東圏内等、遠方での講習に要する交通費・宿泊費は自己負担です。一日六時間講習でも五日間で、相当な出費になります。

一月現在、文科省のホームページで公開されている更新講習を開講する埼玉県内の大学は、十文字学園女子大学と女子栄養大学の2大学です。全国でも八三大学です。全国で一〇万人といわれる免許更新の対象者のうち、開設される講習は二万五千人分しかありません。今後、大学が増えても一〇万人はカバーできません。免許失効で失職する教員を出さないように、制度の廃止、当面二〇〇九年度の凍結、実施する場合は研究所等での研修の読み替えの実現等を求めます。



1時間も経ってないのに講習申し込みが締め切られた。インターネットで全国の大学の講習を見なきゃ。免許更新できないぞ！ウソダロ〜ッ！

## 特別支援学級担任の 特別選考試験を検討

### 【要求】

すべての障害児学級設置校に特別支援学級補助員を配置すること。また、校外行事に付き添いができるようにすること。

### 【市教委】

引き続き特別支援学級補助員の増員を図る。全校配置を目指している。遠足や社会科見学の校外活動の補助も検討する。今年、教員採用選考試験で音楽専科特別選考を実施した。新たに特別支援学級担任の特別選考試験を検討している。校長先生方からも専門の教育を受けた教員が必要との声が出ている。

### 【組合】

障害児学級の補助員が校外行事に参加できるようにしてほしいとの願いは、積年の要求です。是非実現してほしい。障害児学級担任の特別選考試験が実現すれば、全国的に見ても特筆すべきことです。

## 人事の緊急相談はこちらへ

先週から、市教委教職員課は校長に対する「人事ヒアリング」を行っています。今週で小学校・中学校のヒアリングは終わりました。それぞれの学校で異動希望者に話があります。まだ学校名は出ません。「校長先生からの話に納得いかない」「強引に希望区を拡げろと言われた」等、人事110番は市教組事務所にご相談を。 TEL 048-641-6763